

泉小中学校だより

わく泉 落ち合うごとく

～「自立」「協働」「感謝」を重ねて「自信と誇り」を～

第2号

令和3年5月18日(火)

《文責：校長》



いずみん

例年になく早い梅雨入りでした。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、5月に予定していた運動会を2学期に延期していましたが、県内の感染状況も大型連休明けから厳しくなってきました。今一度、感染症対策の基本に立ち返って、泉小中から感染者が出ないように、全校で取り組んでいきます。

八竜小学校と泉小学校の1年生で「リモート交流学习！」

泉小と八竜小は同じ八代市の学校ですが、今年の新入生はどちらも2人ずつでした。学習態度も立派で、落ち着いた生活ぶりなのですが、国語の学習で「あつまって はなそう」という、話す力や聴く力を伸ばす学習をするのに、相手が1人では物足りません。そこで、4月19日(月)に、リモートで交流学习をしました。泉八小と以外では、めったにできない機会でしたが、コロナ禍でリモートが普及したことが、今回の交流につながりました。

「好きな動物」や「好きな果物」などを理由を加えて説明したら、お互いに聞いた感想を伝え合います。初めての相手と、初めてのリモート学習で緊張はありましたが、頑張った分だけ力が伸びたし、やってよかったという達成感も出てきたようです。これからもICTを生かした活動を進めていきます。



今年もやります！ 縦割り班掃除で 異学年交流を進めます

泉小中学校は、9学年で50人余りというこぢんまりとした学校ですが、その分、学年を超えて知り合ったり、仲良くなったりできる環境です。それを生かすべく、今年も縦割り班を編成しました。自分自身の記憶では、小学1年生の頃、小学6年生がとても大きく見えていました。ましてや、制服の違う中学生なんて、もう「大人」でした。そんな上級生と一緒に活動できたら、小学生には貴重な体験です。逆に、中学生からしたら、小学生は小さくてかわいい存在。そんな子たちに指示を出して、一緒に取り組む縦割り班掃除は、上級生にとってもリーダーの経験をする貴重な場です。

右の写真は掃除分担を縦割り班で検討している様子です。縦割り班掃除は、掃除そのものの練習であるとともに、異学年で話し合ったり協力したりして、社会で働く時と似た環境を経験できます。また、反省会で感想を言ったり聞いたりすることも勉強になります。毎日の積み重ねで小さな成長につなげます。始業式で誓った「自立」や「協働」の種が芽吹くことを楽しみにしています。



毎月11日は「人権を確かめ合う日」です 学校でも取組を重ねていきます

毎月11日は「人権を確かめ合う日」です。1965年8月11日に、「同和対策審議会答申」が出されましたが、その日を「人権を確かめ合う日」とし、すべての人の人権が尊重され、違いを認め合って生きていくことについて考える日になりました。泉小中では、今年もこの日をメインにあったかハートウィークとして取組を継続していきます。



5月11日(火)には、今年第1回目として、朝から「人権を確かめ合う日」の意味や、「人権」を大切にすることへの意識付けについて、担当の先生が全校放送で話し、全員が静かに耳を傾けていました。6月から具体的な実践が始まります。この日を含め、毎日の学習や生活の中で、泉小中で生活をする大人と子どもの人権感覚、人権意識を高めていくよう努力していきます。